

授業科目(ナンバリング)		英語科教育法Ⅳ (QB326)		担当教員 担当形態		田中 誠 単独				
教員免許状取得のための選択の別	英語(中・高)：必修		単位数	2単位	開講年次	3年	展開方法	講義	開設時期	後期
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 英語)									
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)									
授業のねらい									アクティブラーニングの類型	
3つの資質・能力を踏まえた「5つの領域」(「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」及び「書くこと」)の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について知識と技能を身に付けるとともに、複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身に付ける。また、生徒の特性や習熟度に応じた指導について深く理解する。さらに、中学校及び高等学校における年間を通した学習到達目標に基づく評価の在り方、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規準の設定、評定への総括の仕方について理解する。言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。特に、「話すこと [やり取り・発表]」及び「書くこと」については、「パフォーマンス評価」(生徒が実際に話したり書いたりする活動の過程や結果を評価する方法)について理解する。									①⑤	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率		
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 ・複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 ・英語の音声的な特徴、文字、語彙・表現、文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 		20%		
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。 ・言語能力の測定と評価(パフォーマンス評価等を含む)について理解し、指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 ・毎回の課題 		10% 10%		
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 		10%		
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り上げられた課題について、共に考え、解決策の案を出すことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表 		10%		
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 ・レポート 		10% 30%		
出席						受験要件				
合計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
毎回の課題は、授業後に manaba(ポートフォリオ)に授業のまとめを提出。1月上旬に「試験とその評価方法」に関するレポートを提出。レポートのフィードバックは15回目の授業時に行う。また、授業中の発言内容や授業への取り組みを評価する。模擬授業とその際の配布プリント等も評価の対象とし、その都度フィードバックを行う。										
授業の概要										
講義を中心とするが、学習指導案の作成・模擬授業・討論など演習形式の授業内容も取り入れる。また、ビデオ教材なども取り入れ、具体的な指導方法を分かりやすく学んでいく。Ⅳでは、授業における高度な知識と技能を習得すると共に、模擬授業を通して理論と実践を学んでいく。原則として、英語科教育法Ⅲの単位取得者のみが、Ⅳの履修ができるので注意すること。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。										
教科書・参考書										
教科書：『アクティブラーニングを位置づけた高校英語の授業プラン』 管正隆・松下信之 著 (明治図書) New Horizon 2 (中学2年生用の英語教科書) (東京書籍) Crown English Communication II (高校2年生用英語教科書) (三省堂) 「学習指導要領」は文部科学省のHPを使用。										
参考書：文部科学省『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 外国語編』、 文部科学省『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 外国語編』										

『はじめてのオールイングリッシュ授業』 又野陽子 (著) (明治図書) 指定図書:『教室英語ハンドブック』 高梨 庸雄 他 (研究社)			
授業外における学修及び学生に期待すること			
授業だけでは、教師に必要な知識や技能を全て習得することは難しいので、授業中に指示する参考図書などを積極的に読んでくれることを期待する。「教えることは、学ぶことである」ということを理解して欲しい。			
回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本講義の意義を理解する。テキストの内容を把握し、授業の進め方、授業外学修の方法などについて再確認をする。『学習指導要領』の復習。	『学習指導要領』を再度熟読する。講義の振り返りをmanabaに。
2	評価法	年間を通した学習到達目標に基づく評価、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規準の設定、評定について理解する。言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。教室英語を学ぶ。	成績評価法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
3	テストの作成法	前時に学んだ適切な測定・評価の方法を反映させたテストの作成方法について学ぶ。教室英語を学ぶ。	テスト作成法について調べる。講義の振り返りをmanabaに。
4	「聞くこと」の指導(上級編)	「聞くこと」の指導方法について学ぶ(上級編)。音声、語彙・表現の指導。教室英語を学ぶ。	「聞くこと」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
5	「読むこと」の指導法(上級編)	「読むこと」の指導方法について学ぶ(上級編)。語彙・表現、文法の指導。教室英語を学ぶ。	「読むこと」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
6	「話すこと[やり取り]」の指導(上級編)	「話すこと[やり取り]」の指導方法について学ぶ(上級編)。音声、語彙・表現、文法の指導。パフォーマンス評価について(1)。教室英語を学ぶ。	「話すこと[やり取り]」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
7	「話すこと[発表]」の指導(上級編)	「話すこと[発表]」の指導方法について学ぶ(上級編)。音声、語彙・表現、文法の指導。教室英語を学ぶ。	「話すこと[発表]」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
8	「書くこと」の指導(上級編)	「書くこと」の指導方法について学ぶ(上級編)。文字、語彙・表現、文法の指導。パフォーマンス評価について(2)。教室英語を学ぶ。	「書くこと」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
9	複数の領域を統合した指導法(上級編)	複数の領域を統合した言語活動の指導についても学ぶ(上級編)。音声、文字、語彙・表現、文法の指導。教室英語を学ぶ。	複数の領域を統合した効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
10	生徒の特性・習熟度への対応(上級編)	生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かす指導法を学ぶ(上級編)。教室英語を学ぶ。	生徒の特性・習熟度への対応について調べる。講義の振り返りをmanabaに。
11	実践的な模擬授業(高校2年1学期)	高2の1学期の内容を題材に模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	高2の1学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
12	実践的な模擬授業(高校2年2学期)	高2の2学期の内容を題材に模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	高2の2学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
13	実践的な模擬授業(高校2年3学期)	高2の3学期の内容を題材に模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	高2の3学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
14	実践的な模擬授業(中学2年3学期)	中2の3学期の内容を題材に模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	中2の3学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
15	まとめ 第二言語習得研究の成果	全体のまとめ。第二言語習得研究の成果を活かしたこれからの英語教育のあり方について考える。教室英語を学ぶ。	英語教育事情について調べる。講義の振り返りをmanabaに。